



2022年12月期

決算説明レポート

1. 2022年12月期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2023年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年～2026年
6. appendix



サマリー

■ 2022年12月期 概況

- ・連結ベース 売上高3,270百万円 営業利益318百万円 当期純利益200百万円
- ・外国株取引のためのシステム開発需要が高まり、金融ソリューション事業が好調に推移
- ・効率的、効果的な人員配置などプロジェクト管理力が高まり、収益力が向上

■ TOPICS

- ・Keepdata社 販売管理DXソリューション「EC-Fine」
当社 EC取引基盤システムの採用が決定

■ 事業環境認識・当社の取り組み

- ・当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲はコロナ禍においても旺盛。
- ・事業領域拡大、ビジネスモデル転換、2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大。

■ 2023年12月期 業績予想

- ・売上高3,500百万円、営業利益340百万円を見込む。
- ・株主還元は1株当たり15円の配当を予定。



1. 2022年12月期 概況



株式会社トレードワークス、浅見でございます。

はじめに、新型コロナウイルスに関しましては感染状況が続いておりますため、皆様の安全と利便性を考慮いたしまして、今回もオンラインでの説明とさせていただきます。

ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
それでは2022年12月期連結決算の概況をご説明させていただきます。

目次
1. 2022年12月期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2023年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年
6. appendix

はじめに、
2022年12月期 概況

続いて、
TOPICSと事業環境認識・当社の取り組み

最後に
2023年12月期 業績予想

についてご説明させていただきます。

1. 2022年12月期 概況

まず、2022年12月期概況についてご説明させていただきます。

1. 2022年12月期 概況

2022年12月期につきましては、株式会社あじよのグループ化、外国株取引システムの改善需要の高まり、プロジェクト管理力の向上により連結ベースで
 売上高32億7,000万円
 営業利益3億1,800万円
 当期純利益は2億円
 となりました。
 中期経営計画初年度の当期は幸先の良いスタートとなりました。

2022年12月期 業績サマリー		
2022年12月期 連結業績		
前年同期比28.1%増収、営業利益10.7%増益と大幅な増収、増益		
売上高 3,270 百万円 ↑	営業利益 318 百万円 ↗	当期純利益 200 百万円 ↗
2,553百万円	(参考：前期の単体数値) 287百万円	189百万円
・株あじよのグループ化により、事業規模が拡大 ・外国株取引のためのシステム改善需要が高まり、金融ソリューション事業は1年を通じて好調に推移 ・効率的、効果的な人員配置などプロジェクト管理力が高まり、収益力が向上。 ・中計初年度の当期は、期初予想を上振れて着地、中計業績目標達成に向けて幸先の良いスタート。		
*当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。 ©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved.		

1. 2022年12月期 概況

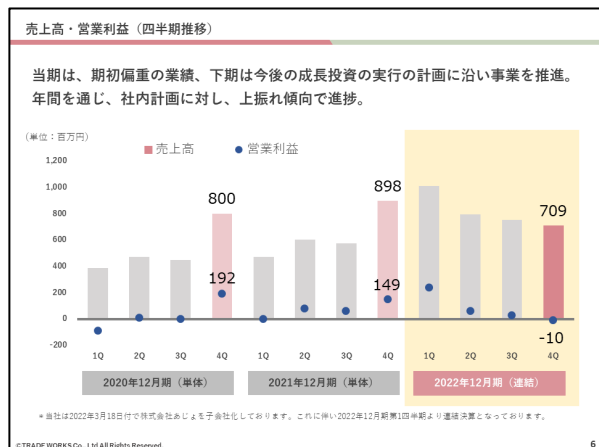
重点施策の振り返り	
重点施策	成果
主幹事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大	当社が得意とするオンライン取引システムにおいて、既存取引先からのニーズの取り込みが良好に進み、シェア拡大が進展
新事業の収益化に向け、事業者との資本・業務提携の関係強化	2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化により、当社グループの次世代金融への取り組みと新領域への進出により事業領域を拡大
AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発	当社が持つ強みが活きる領域の模索、サービス提供準備を徐々に進めている段階。来期以降の本格的な取り組みに向けて着実に進行。
働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出	企業の旺盛なDXニーズを捉えるべく、ニーズの把握を実行。新たな事業領域の一つとして提供できうるソリューションの準備に着手。

続きまして重点施策の振り返りについてです。当グループは既存取引先からのニーズ取り込みや株式会社あじよの子会社化によりシェア拡大と事業領域を拡大して参りました。また、7月にはデジタルコマース事業部を新設し、新しいサービスの開発に着手し、来期以降の本格的な取り組みに向け着実に進行して参りました。

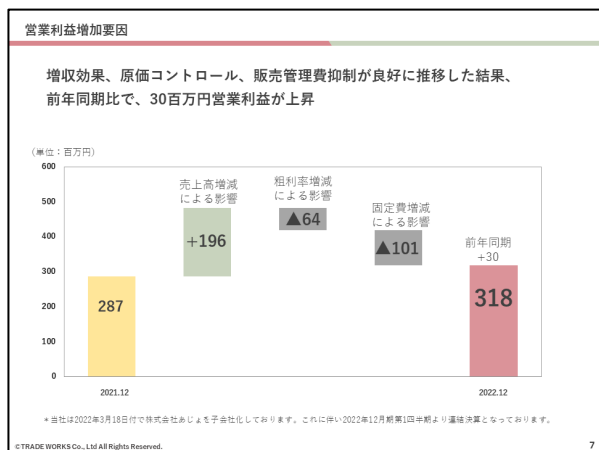
2022年12月期 業績ハイライト						
㈱あじよの子会社化、旺盛なシステム需要の取り込みにより大幅増収。 増収効果、PM管理能力向上により収益性がUP。営業利益率は、9.7%に上昇。						
(単位：百万円)	2021.12期 単体	2022.12期		達成率	増減額	前期比
		連結	期初計画			
売上高	2,553	3,270	3,200	102.2%	717	28.1%
営業利益	287	318	300	106.0%	30	10.7%
経常利益	289	327	300	109.0%	38	13.2%
当期純利益	189	200	190	105.3%	10	5.4%

続きまして2022年12月期業績につきましては、増収に加え営業利益率が改善し、9.7%に上昇しました。

1. 2022年12月期 概況



続きまして四半期推移につきましては、第1四半期に売上が集中した結果、
売上高は7億900万円、
営業利益は1,000万円の損失
となりましたが通期では当初業績予想を上回る結果となりました。



続きまして営業利益増加要因につきましては、増収の効果、プロジェクトマネジメント力の向上により原価コントロールが寄与し、
営業利益は3億1,800万円、
前事業年度より3,000万円の増益となりました。

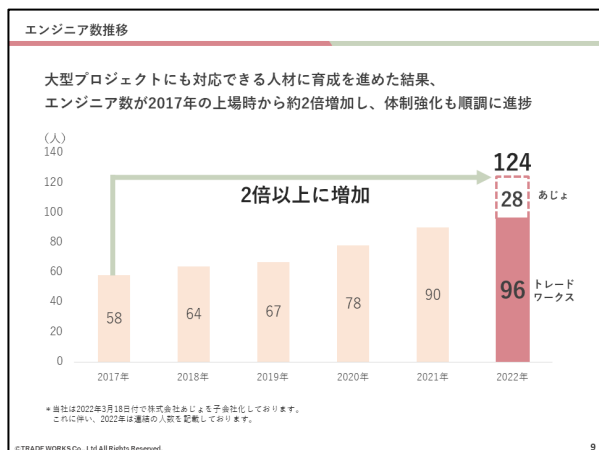
1. 2022年12月期 概況

貸借対照表				(単位：百万円)			
	2021.12期	2022.12期	増減額		2021.12期	2022.12期	増減額
	単体	連結			単体	連結	
流動資産	1,529	1,354	▲175	流動負債	311	539	227
現金及び預金	802	688	▲114	買掛金	107	123	16
売掛金	597	195	▲402	未払法人税	89	3	▲85
固定資産	569	824	255	固定負債	80	176	95
有形固定資産	87	77	▲9	純資産合計	1,706	1,463	▲242
無形固定資産	229	269	39	負債・純資産合計	2,098	2,178	79
投資その他の資産	252	477	225				
資産合計	2,098	2,178	79				

※当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

続きまして貸借対照表につきまして、総資産は前期末より7,900万円増加し21億7,800万円になりました。前期に比べ投資その他の資産が大きくなった事が資産の主な増加要因となっております。流動負債は前期末より2億2,700万円増加し5億3,900万円となりました。純資産は前期末より2億4,200万円減少し14億6,300万円となりました。



続きましてエンジニア数の推移につきましては、当社グループのエンジニア数は124名となり上場時から約2倍となりました。

2. TOPICS



続いて、TOPICSです。

EC取引基盤システムの新規採用

Keepdata社 販売管理DXソリューション「EC-Fine」
当社 EC取引基盤システムの採用が決定



EC-Fineとは？
Keepdata社が提供するソフトウェア販売を行う企業のDX化を促進するソリューション。
これまで手作業が多かった、販売代理店の契約管理、帳票管理や、販売手数料計算、パスワードの発行管理、更新手続き等をDX化し、手間を削減することで、本業である開発と営業により多くの時間を投下することを可能にします。

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved. 11

「EC-Fine」に当社EC取引基盤システムの採用が決定しました。

「EC-Fine」とはソフトウェア販売を行う企業のDX化を推進するソリューションであり、これまで手作業が多かった作業をDX化し手間を削減することが可能です。

3. 事業環境認識・当社の取り組み

続きまして事業環境認識・当社の取り組みについてご説明させていただきます。

3. 事業環境認識・当社の取り組み

当社の事業環境につきましては、依然新型コロナウイルス感染症拡大の状況が続いておりますが、市場資金等の流入により金融取引市場は活況であり、当社の主軸であります金融・証券業界ではIT投資意欲がコロナ禍においても旺盛であると捉えております。



3. 事業環境認識・当社の取り組み

2023年12月期の位置づけと重点施策

2023年12月期の位置づけ

業績拡大の継続 ・ 収益力の更なるUP
+
成長、飛躍への基盤整備

5年間で2.4倍の企業規模への拡大を目論む中期計画において、初年度を終え、4年間で1.8倍の成長が必要。想定通りのスピードで計画遂行中であり、業績向上と将来の飛躍の両面をしっかりと進めていきます。

重点施策

前期に掲げた以下の施策を継続強化

- ① 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ② 新事業の収益化に向け、事業者との資本・業務提携の関係強化
- ③ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ④ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

14

5カ年の中期経営計画の2年目といたしまして、既存事業の拡大、新規事業の本格展開開始に加え、フィンテックなどをはじめとする次世代金融テクノロジーに取り組んで参ります。

金融システムを中心とする既存事業を確実に遂行し、次世代金融の新サービス等にも積極的に取り組んで参ります。

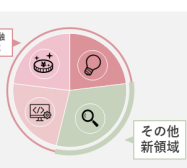
また、ECプラットフォーム、AR/VRコンテンツ、AIコンテンツ等の新サービスに取り組み、2年後の黒字化を目指して参ります。

成長戦略

持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

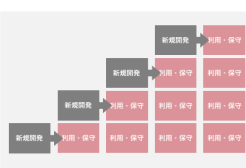
技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団

金融・金融周辺領域



主軸領域の深耕と新領域への進出
事業領域拡大

利用型・ストック型ビジネスモデル比率のUP
ビジネスモデル転換



2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

15

当社の成長戦略としましては、収益基盤の安定化を図るため、「開発フロー型」からサービスを提供する「利用型・ストック型」へのビジネスモデル転換は引き続き推進してまいります。

また、コアビジネスに加え、新ビジネス及び新領域への事業拡大を図り、規模・収益力の拡大に努め、経営基盤の構築を図ってまいります。

4. 2023年12月期 業績予想

続いて、2023年12月期連結業績予想についてご説明させていただきます。

4. 2023年12月期 業績予想

2023年12月期連結業績予想につきましては、
売上高は35億円、
営業利益は3億4,000万円
としております。

2023年12月期 業績予想

既存顧客との取引拡大および新規顧客の開拓を
2023年12月期は引き続き、好調な売れ行きで増収増益の見通し。

(単位：百万円)

	2021.12期 単体	2022.12期 連結	2023.12期 連結（予）
売上高	2,553	3,270	3,500
営業利益	287	318	340
経常利益	289	327	340
当期純利益	189	200	220

2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

* 当社は2023年3月18日付で株式会社あじも子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

17

4. 2023年12月期 業績予想

株主還元について

経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

1 株あたり15円を予定

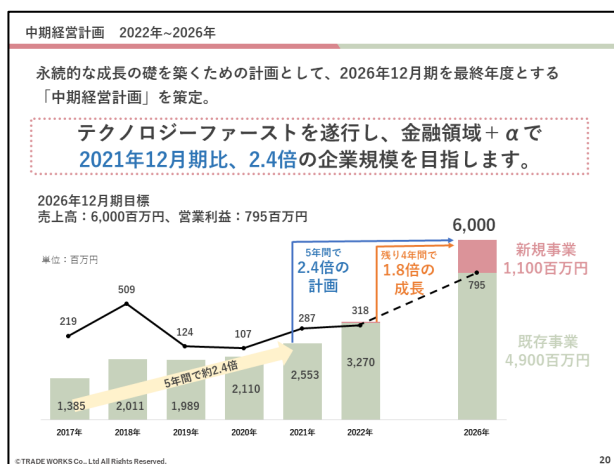
	2021.12期	2022.12期	2023.12期 (予)
配当金 (1株)	15円	15円	15円

最後に株主還元につきましては、
一株あたり15円の配当を予定しております。

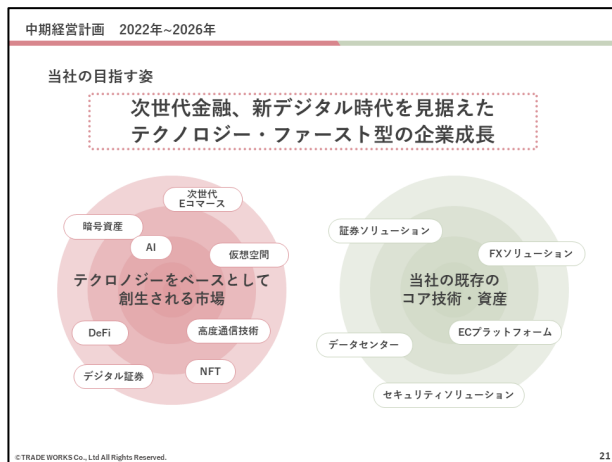
以上、2022年12月期決算のご説明とさせていただきます。ご視聴ありがとうございました。

5. ご参考）中期経営計画 2022年～2026年

5. ご参考）中期経営計画 2022年～2026年



5. ご参考）中期経営計画 2022年～2026年



中期経営計画 2022年～2026年	
目標数値	
既存事業におけるストック率の向上	
●ストック売上高目標 3,074百万円 (2022年12月期：1,606百万円)	
●既存事業におけるストック売上高比率 62.7% (2022年12月期：51.2%)	
新規事業の育成	
●新規事業売上目標 1,100百万円	
新規事業の育成	
●エンジニア数 210人 (2022年12月期：124人)	

©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved. 22

6. appendix

6. appendix

当社の特徴

技術と金融知識を持ち合わせた
専門性の高い集団

技術	×	金融知識
● 最新テクノロジー ● ビッグデータ ● バーチャルリアリティ ● 音声認識 ● AI ● RPA ● Fintech ● クラウド		● 株式 ● FX・CFD ● 仮想通貨 ● 投資信託 ● 保険 ● 年金



©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved. 24

6. appendix

継続的な取り組み

ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。

技術者育成＋環境整備
全社横断 品質・生産性向上

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

25

留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング9F
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612
<https://www.tworks.co.jp/>

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

26